

## 四日市版コミュニティスクール報告書（令和2年度総括）

四日市市立泊山小学校

校長 前田 典昭

**1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい**

平成29年4月に本校は、四日市市教育委員会から四日市版コミュニティスクールの指定を受け、「泊山小学校運営協議会」（以下運営協議会）を発足させました。

学校づくりビジョンに掲げた学校教育目標「共に学び、共に生きる」子どもの育成のため、学校をご支援いただいている保護者や地域の方々の活動を継続・発展させ、学校教育の一層の充実を図ります。

**2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について****(1) 教育活動の実践事例**

## ○防災学習事業

【<柱3>からだづくりの推進、安全意識の向上】を図る上で、地域の自主防災会の方が来校し、講演と防災体験（水消火器と応急担架体験）をしていただきました。特に本校コミュニティスクール運営委員長の講演では、実際にご自身が本校区において被害に遭った49水害（昭和49年に天白川等が氾濫した洪水災害）の模様をお話しされました。川の水位が上がって道路と川との境界がわからず、川に落ちて流されてしまいましたが、その時に持っていた傘の柄を橋の欄干に引っ掛けたおかげで一命をとりとめたことをお話しいただきました。児童は自分たちをいつも見守ってくれている地域の方が、自然災害によって命を落としそうになったことを知り、どこか遠い話ではなく、防災減災の大切さを切実に感じた様子でした。



体験学習では、地区の自主防災会の方から竹と毛布で簡易担架を作ることをご教わりしました。災害によるけが人を想定し、自分たちで作った担架で運んだり運ばれたりしました。身近にある材料でも工夫次第で有用になることを実際に自分たちの体験を通して感じ、防災・減災に対する意識を高めることができました。

## (2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

【<柱1>確かな学力の定着】を図る上で、読書活動の推進に取り組みました。その一環で保護者や地域の方が読み聞かせボランティアとして、コロナの影響で年2回となった図書館まつり・読書週間において、各クラスで読み聞かせをしていただきました。各クラスの読み聞かせでは、コロナ禍に配慮し、密にならないために児童は自席で聞くようにしていましたが、書籍が小さいと絵が見えにくいため、プロジェクタを利用して行ったクラスもありました。児童は読み聞かせの絵本に集中している様子がうかがえ、絵本の世界を楽しんでいました。



また、毎週火曜日に図書館の環境整備をしていただいている図書ボランティアの方がいます。図書室の整理整頓をはじめ本のディスプレイにも工夫を凝らしていただいたおかげで、児童の興味関心が高まりました。さらに季節に合わせた装飾を図書室内外に飾ったり、絵本の世界を図書館内に再現したりして、読書に親しみが湧くような空間を作り出していました。そのおかげで図書室はいつも明るく、本を読む児童の顔はとてものにこやかです。



## 3 今後に向けて

コミュニティスクール運営協議会では、毎回1時間ほど校内の様子を参観し、感想をいただいています。コミュニティスクール運営委員の皆さんは、児童の健康という面で新型コロナウイルス感染症対策について関心をお持ちになられ、ご意見をいただくことが多くありました。

概ね「先生方はよくやってくれている」と褒めていただきつつ、個々のクラスにおける換気の状況（窓開け）や、机の配置の状況（フィジカルディスタンス）、マスクの着用状況など、丁寧にご指摘いただきました。

また、タブレットやプロジェクタセットを活用した授業にも注目していただき、今後の活用方法等やオンライン授業の可能性について質問される場面がありました。

コロナへの対策といった当たり前で大切な日々の取組を丁寧に行っていくこと、また、ICTの活用など先進的で児童の未来を拓く取組に挑戦する姿勢をもつことによって、学校が保護者や地域の方の信頼を得て、協働して児童の成長を支えていけるようにしていきたいと思えます。

別紙B

令和2年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立泊山小学校

委員長 小池 儀作

校長 前田 典昭

月	協議会の開催	活 動 内 容
4		
5	第1回 運営協議会	休校中の学校の取組状況報告
6	第2回 運営協議会	校内参観 本年度の運動会開催方法について
7		
8		
9		運動会参観
10	第3回 運営協議会	校内参観 新型コロナウイルス感染症対策報告
11		
12	第4回 運営協議会	校内参観 習熟度別学習状況報告
1	第5回 運営協議会	泊展（書写・図工作品展）参観、 年間活動総括及び学校関係者評価
2		
3		